

## 1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 課題を追究したり解決したりする活動を通して資質・能力の育成
  - ・単元など内容のまとまりを踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動の充実
  - ・基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の育成
- 主題や問いを中心にして内容のまとまりを踏まえた学習活動、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉える内容構成、資料を活用した歴史の学び方の習得、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の考察などの学習指導の改善・充実

## 2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 課題や問いの追究に必要な資料の見通しをもつことは相当数の生徒ができていますが、生活や社会の変容に関わる資料を考察した上で問いを表現することに課題があると考えられる。
- 課題の解決に向けて資料を基に情報を読み取ることや資料を扱う際の留意点を考察することは相当数の生徒ができていますが、課題の解決に必要な資料を取捨選択することや歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察することや考察した知識を関連付けて概念的に理解することに課題があると考えられる。
- 近現代の歴史を現代的な諸課題との関わりから考察することや歴史に見られる課題について解決を視野に構想することに課題があると考えられる。
- 地理的条件を踏まえることや世界と日本の出来事を関連付けることに課題があると考えられる。

## 3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
  - ・現代的な諸課題の形成に関わる歴史の学びをこれからの社会の構想に繋げることができるよう、生徒の関心・意欲を喚起する課題（問い）を中心として概念的な理解へと向かうように学習を構造化すること。
  - ・生徒が資料の特性に着目して課題の解決に生かす資料活用の指導の充実を図るとともに、生徒が「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を働かせて理解したことを表現する指導の充実を図ること。
  - ・近現代の歴史の変化と現代的な諸課題との関係を考察する学習（大項目B～Dの中項目(4)の指導）を充実すること。
  - ・中学校社会科の各分野の学習成果や、地理領域科目などをはじめとする他教科目とのつながりを見通した指導の充実を図ること。

## 4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

## 「課題の解決に向けて資料を基に情報を読み取ること」の問題例（別紙1参照）

- 学習課題を追究する過程において、課題の解決に向けて資料を基に情報を読み取ることが重視して、時間を守るという身近な考え方と歴史との関連性について、資料を基に考察することができるかを問う問題を「思考・判断・表現」を測る観点から出題。
- 江戸時代末期から大正時代にかけての複数の文書資料を基に、時間を守るという考え方に関わる情報を読み取る。  
【通過率 76.5%】

## 「考察した知識を関連付けて概念的に理解すること」の問題例（別紙2参照）

- 学習課題を追究する過程において、考察した知識を関連付けて概念的に理解することを重視して、地域紛争と冷戦の関係性について適切に表現することができるかを問う問題を「知識・技能」を測る観点から出題。
- 中東戦争とベトナム戦争の影響について比較し、冷戦という国際情勢という共通する背景について考察し、表現する。  
【通過率 22.5%】

## 「課題の解決に向けて資料を基に情報を読み取ること」の問題例

歴史総合 大項目 A (1) 「歴史と私たち」  
時間を守るという身近な考え方と歴史との関連性について、資料を基に考察することができるかを問う問題。

○江戸時代末期から大正時代にかけての複数の文書資料を基に、時間を守るという考え方に関わる情報を読み取る。

(1) 生徒Aは、「日本で、時間を守るという考え方はいつ頃から定着したのか」について調べるため、資料1から資料4を集めました。資料から読み取れる内容として最も適切なものを、あとの1から4の中から1つ選びなさい。(1)

資料1 オランダ海軍軍人がみた幕末の日本

日本人の悠<sup>ゆう</sup>長<sup>ちやう</sup>さといったら呆<sup>あき</sup>れるくらいだ。(船の修理に必要な材木を注文し)その船を修理台に引き揚げようとする段になって、材木がまだ届いていないという始末で(後略)

(カッテンディーケ著(水田信利訳)『長崎海軍伝習所の日々』(平凡社)より作成)

資料2 文部省が制定した「小学生徒心得」(1873年)

第2条 毎日の登校は授業が始まる時間の10分前であること。

第6条 授業の時刻になったらそれぞれの席に着き、教師の指図を待つこと。

第7条 もし授業の時限に遅れて登校する時はみだりに教室に入ってはいけない。

遅刻の事情を述べて教師の指図を待つこと。

(文部省『小学生徒心得』より作成)

資料3 小説に描かれた明治時代の教師の様子(1906年)

田舎の小学校にはよくありがちなやつで、自分がこの学校に勤めるようになって既に3ヵ月にもなるが、未だかつてこの時計がK停車場の大時計と正確にあっていたためしがない。(中略)しかし、同僚の誰1人、敢えてこの時計の怠慢に対して、職務柄にも似合わず何等矯<sup>なんら</sup>正<sup>きやうせい</sup>の手段を講ずるものはなかった。誰しも朝の出勤時間の、遅くなるなら格別、1分たりとも早くなるのを喜ぶ人は無いと見える。

(『石川啄木全集』(筑摩書房)より作成)

資料4 1910から1921年に使用された小学校の教科書に掲載された内容

登はだんだん重い役に取立てられましたが、日<sup>ひ</sup>日<sup>び</sup>のしごとのじこくをさだめておいて、毎日その通りおこないました。このようにきりつただしくしましたので、絵も大そう上手になり、がくもんもすすんで、のちにはえらい人になりました。

(『尋常小學校修身書 児童用 卷三』より作成)

- 1 幕末に訪日した外国人は、時間通りに勤勉に働く日本人に感銘を受けた。
- 2 19世紀後半の文部省は、学校で子供に時間を守る考え方の定着を図ろうとした。
- 3 明治時代の小学校の教師は、時間規律を厳格に守って教育をしていた。
- 4 大正時代の教科書は、働く際に時間を気にしないことが大切であると教えていた。

【通過率 76.5%】

## 「考察した知識を関連付けて概念的に理解すること」の問題例

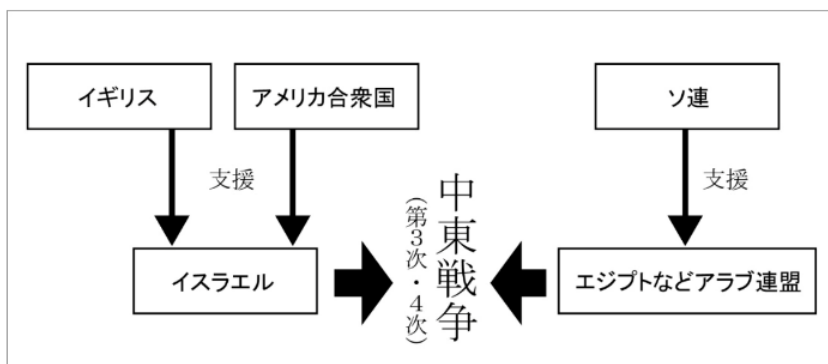
## 歴史総合 大項目 D(2)「冷戦と世界経済」(ア)

地域紛争と冷戦の関係性について適切に表現することができるかを問う問題。

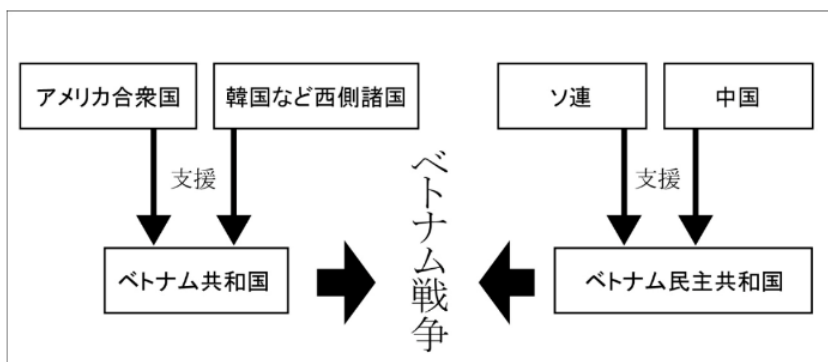
○中東戦争とベトナム戦争の影響について比較し、冷戦という国際情勢という共通する背景について考察し、表現する。

(2) 生徒Bは、「冷戦下の地域紛争にはどのような背景があったのだろうか」という問いを立て、1960年代から70年代の地域紛争についてメモ1とメモ2を作成しました。これらのメモを基に、図を作成し考察しています。このことについて、あとの①と②の問題に答えなさい。

メモ1 中東戦争(第3次・第4次)における対立関係



メモ2 ベトナム戦争における対立関係

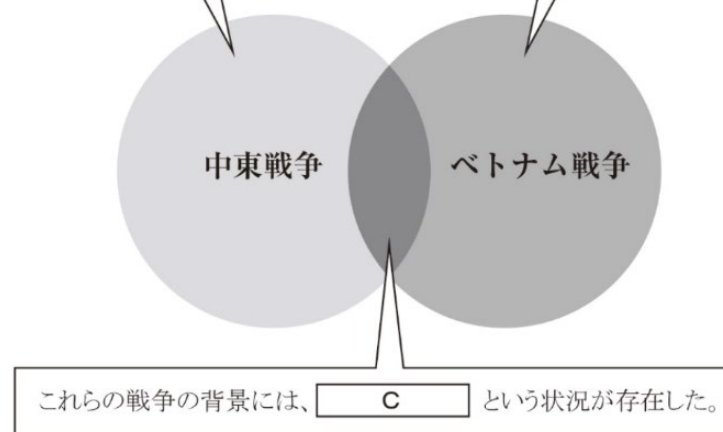


② 図中の **C** に入る文を 15字程度で答えなさい。(22)

図 中東戦争とベトナム戦争の比較

- ・イスラエルがエジプトなどのアラブ諸国を奇襲し、1973年にはアラブ諸国がイスラエルを奇襲するなど、戦争が続いた。
- ・イスラエルをアメリカとイギリスが、アラブ諸国をソ連が支援した。
- ・アラブ諸国による **A** の輸出統制により、世界的に **A** の価格が高騰した。

- ・ソ連や中国が支援する北ベトナムと、アメリカが支援する南ベトナムとの間で戦争が展開された。
- ・世界各地で反戦運動の機運が高まった。
- ・アメリカは財政赤字に陥り、ドルと **B** の交換を停止した。



「アメリカ合衆国とソ連の対立」などと回答しているもの  
(「冷戦」という言葉の意味を説明しているもの)

注：  
A (石油) と B (金)  
の空欄については、選択形式の別問題として実施。

【通過率 22.5%】